



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：900千円

第3回 産学共同国際デザインワークショップ

目的・趣旨	本学の特徴を生かした国際的かつ実践的な人材育成のため、海外デザイン系大学との産学共同デザインワークショップを行った。
日時・場所	平成28年4月1日から平成29年3月31日
体制	(実施代表者) デザイン学部 デザイン学科 教授 高山靖子 (実施分担者) デザイン学部 デザイン学科 准教授 服部守悦 文化政策学部 国際文化学科 准教授 Edward Sarich
共催・後援等	(協力) スズキ株式会社、ヤマハ発動機株式会社、トヨタ車体株式会社、株式会社東芝、静岡県観光振興課

内容

国際交流提携校であるイズミル経済大学の学生8名と教員1名を招き、本学のデザイン・文化政策両学部生との混成チームによるビジネス提案を行った。各チームのマネージャー（イストラカ）として、地域産業を代表するスズキ株式会社、ヤマハ発動機株式会社に加え、トヨタ車体株式会社、株式会社東芝からデザイナーを招き、「観光+スローモビリティ」をテーマに、ビジネスとそれに伴うデザイン提案を行った。また、このワークショップについての記録パンフレットを作成した。今後、これを地域、企業、高校に対する活動広報に活用する予定である。ワークショップ中の円滑なコミュニケーションを促す為、ワークショップ開始前からリサーチを始め、英語中国語教育センターにおいて英会話レッスンを兼ねた情報交換を行った。



意見交換する様子



発表の様子

結果・成果

本学の地域性、両学部の特徴、国際交流協定大学の地域性を生かしたワークショップとなり、静岡県と参加各企業の協力を得て、充実した情報と指導によって、有意義な提案を行うことができた。また、企業デザイナーやトルコ人学生とのコラボレーションによって、提案をまとめるという技術的なことだけではなく、参加学生は各専門性と社会や世界・地域との関わりを学ぶことができた。同時に、各企業や県に対しても、本学の認知度を高めることができた。また、「静岡の観光+スローモビリティ」をテーマとしたことで、地域の魅力発掘にもつなげることができた。なお、今後の広報活動のため、この内容について記録したパンフレットを作成した。



浜松観光



企業見学



静岡の食文化体験



パンフレット